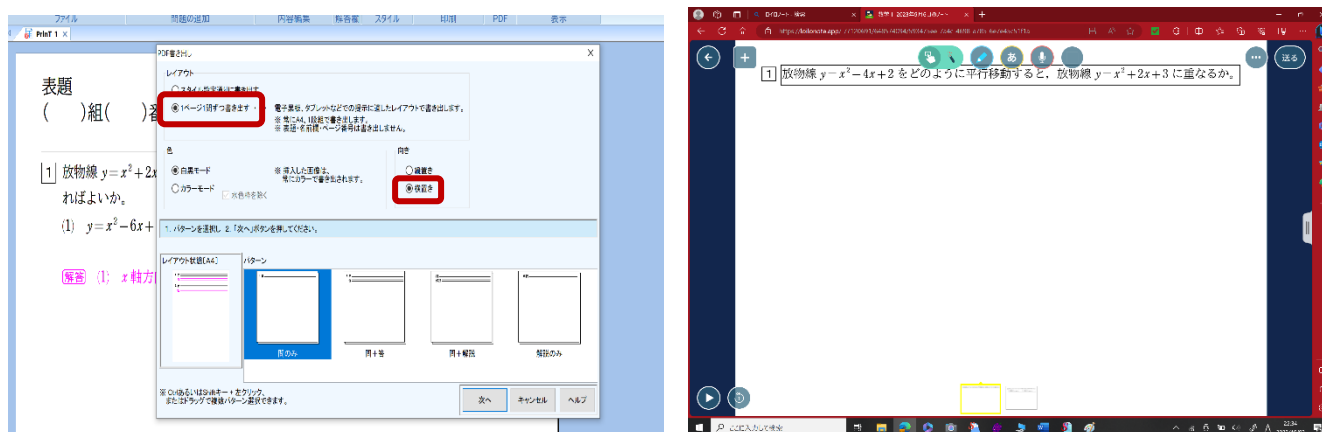


ロイロノートを使って、問題演習と振り返り

1. ロイロノートは便利

1人1台タブレットが導入されて1年。筆者は4月から異動になったが、異動先の生徒たち（高校1年生）も、1人1台タブレットを何不自由なく使っている。小中学校では当たり前に使われてきたのであろう。その生徒たちに、2学期からロイロノートを使用して授業している。

ロイロノートは数学にはなかなか使えない…という声もあるが、それはシンキングツールの話であり、十分に使える機能もある。スタディエイドで問題を用意し pdf 化しておけば、問題を板書することなく簡単に配信できる。また生徒の考えを取り上げたいときや教員の説明をしたいときにも、板書ではなく画面共有の機能を使ってできる。時間短縮につながる。これだけでも十分、ロイロノートを使うメリットがある。



スタディエイドの pdf 書き出し（左側）で、「1 ページずつ書き出す」「横置き」を選択すると、ロイロノート上（右側）で使いやすい形で配信が出来る。

2. ロイロノートで振り返りをさせてみた

茨城県立並木中学校の HP で公開されている R80 を、タブレットを使わなかった 1 学期から実践しているが、2 学期からロイロノート上で行うことにした。毎回毎回原稿を印刷し、スキャンして残し、添削もしていた 1 学期の頃と比べると、原稿は予め「資料箱」に入れておけば何回でも使えるし、また提出してもらえばロイロノート上で保存ができるので、圧倒的に楽に振り返り、添削を行うことができるようになった。今生徒たちは「振り返りをやってね」と言うだけで、自然に資料箱から R80 の原稿を引っ張りだし、ペンでタブレット上に記入して提出することが習慣化できている。ロイロノートは、教員の授業準備の時間を減らすことのできる、便利な ICT ツールであると思う。

課題・タイトル	二次関数のグラフ																			
1つの頂点でグラフが何個あるか？	20																			
問題では、2点がある状態はグラフが何個？	40																			
グラフは？	60																			
ここが大切だよ	80																			

課題・タイトル	確率																			
今日は自分のあがり率をどのくらいで決めたか？	20																			
人にあがりやすくするには？	40																			
、そのあがり率で自分の理解もより深めよう	60																			
ができた。	80																			

＜R80 の実践例＞